

# シンポジウム

## 裁判員裁判に関する日独比較法の検討

### Deutsch-Japanisches Strafrechtssymposium

#### - Das Laienrichtersystem im Rechtsvergleich -



主催: 独日法律家協会(DJJV)・日本比較法研究所(中央大学)

日時: 2015年10月4日(日) 10:00~17:40

会場: 中央大学駿河台記念館 (東京・お茶の水)

言語: 日本語・ドイツ語(同時通訳あり) 参加費: 無料

詳しいタイムスケジュール、参加申込みについてはウェブサイトをご確認ください

<http://www.chuo-u.ac.jp/research/institutes/comparative-law/>

#### <プログラム(予定)>

#### 基調報告 「比較法的に見た裁判員制度の特徴とその運用実態及び課題」

椎橋隆幸・中央大学法科大学院

#### セッション1 刑事裁判への国民参加の意義およびその正当性

司会 香川徹也・最高裁判所刑事局

報告 小木曾綾・中央大学法科大学院 アルントウ・ジン・オスナブリュック大学

コメント 上富敏伸・法務省大臣官房 カーステン・ゲーデ・ブツェリウス・ロースクール

#### セッション2 量刑問題

司会 井田 良・慶應義塾大学法務研究科

報告 鈴木彰雄・中央大学法学部 マーク・トゥリ・ハンブルク高等裁判所

コメント 稗田雅洋・東京地方裁判所 ヤン・グローテア・DJJV 会長

#### セッション3 控訴裁判所による事実誤認の審査のあり方

司会 吉田安志・東京地方検察庁

報告 柳川重規・中央大学法学部 ヘニング・ローゼナウ・アウグスブルク大学

コメント 青柳 勤・東京高等裁判所 カーステン・ゲーデ・ブツェリウス・ロースクール

このシンポジウムは公益財団法人社会科学国際交流江草基金、日本比較法研究所研究基金、ロバート・ボッシュ財団の助成を受けて開催されます。

お問い合わせ: 日本比較法研究 TEL:042-674-3302 FAX:042-674-3301 saibanin@tamacc.chuo-u.ac.jp